

■西園寺公経 公卿。関東申次西園寺家の祖(中興の祖)。新興幕府と公家社会を取り持つ位置を背景に権勢を振った。

さいおんじきんつね
平徳子入内・1171=

生。父は内大臣藤原実宗。母は権中納言持明院基家の女。車文から巴大将、居所から一条殿・大宮殿・今出川殿、別荘から北山殿と称され、世に西園寺入道前大相国と号さる。

・・・・・・1176= 5歳：叙爵。

源氏一斉蜂起1180= 9歳：

平氏滅亡・・1185=14歳：

侍従を経て、

奥州藤原滅亡1189=18歳：

源頼朝上洛・1190=19歳：この頃、源頼朝の妹婿一条能保の女全子を娶り、以後、幕府・将軍家と密接な関係が生み出される。

鎌倉幕府始・1192=21歳：

・・・・・・1193=22歳：左中将に任ず。琵琶の名手をもって聞え、和歌に秀で、書をよくした。

建久7年政変 1196=25歳：*源通親が兼実派を排斥し廟堂を一新する政変に際して、頼朝縁故のものとして蔵人頭に抜擢され、

・・・・・・1198=27歳：参議に任じた。

源頼朝没・・1199=28歳：頼朝が死去すると形勢は変わり、朝の出仕をとどめられ、院の御厩別当を罷免され籠居を命ぜられたが、

赦され、累進して、

執権政治始・1203=32歳：

専修念仏禁止1207=36歳：権大納言に任じ、

・・・・・・1208=37歳：娘を九条道家の室となし、

北条頼朝確立1213=42歳：

・・・・・・1216=45歳：

・・・・・・1218=47歳：三寅(頼経)が誕生、

源実朝暗殺・1219=48歳：右大将を兼ねる。*源実朝が暗殺されると鎌倉から三寅の東下を奏請され、以後公経と関東の関係はいっそう緊密となる。

愚管抄・・1220=49歳：家領尾張国松枝荘を兵部卿仲資王の家領北山の田畠山林と交換し、この洛北衣笠・北山の地に善美を尽した別荘を経営した。「増鏡」はそのさまを、'もとは田畠など多くてひたぶるに田舎めきたりしを、更にうち返しくずして、艶ある園を造りなし、山のたたずまい木深く、池の心ゆたかに綿津海を湛え、峯より落つる滝の響もげに涙催しぬべく'と伝えている。

承久の乱・・1221=50歳：討幕の挙兵を企てた後鳥羽上皇側が、機先を制して関東伝奏公経および長子実氏を弓場殿に拘禁し、外部との連絡を絶とうするより先に、謀議を察知し、家司三善長衡を遣わして鎌倉に危急を告げた。乱後は鎌倉の意を受けて廟堂改造の中心となり、内大臣に任じ、

・・・・・・1222=51歳：*太政大臣となって、清華家としての極官にのぼった。

運慶没・・1223=52歳：従一位に昇叙。

親鸞真宗始・1224=53歳：北山別荘に、道長の法成寺に比された本堂西園寺を建立。

北条政子没・1225=54歳：幕府は政策として公経の一族を宮中に近侍させた。

道元曹洞宗始1227=56歳：後院別当に補し、

・・・・・・1228=57歳：牛車の宣旨を被る。

・・・・・・1229=58歳：*官を辞し、

・・・・・・1231=60歳：病のため、高山寺明恵上人を戒師に出家を遂ぐ。准三后に遇せられる。

御成敗式目・1232=61歳：

金滅亡・・1234=63歳：

このほかにも公経には天王寺・吹田・榎島などに山荘があり、またすでに家領として安芸国沼田荘の所職や伊予・周防の国衙領などを有していたが、

・・・・・・1236=65歳：幕府の御家人小鹿島(橘)公業の所領、伊予国宇和郡を強請し、ついにこれをわが物とした。

・・・・・・1237=66歳：かねて対立続く近衛・九条両家の和睦を周旋、近衛兼経と九条道家の女任子の婚儀を成立させる。

・・・・・・1240=69歳：以降、日宋貿易に関与し、

北条泰時没・1242=71歳：十萬貫の宋銭を舶載させている。孫女信子(大宮院)が後嵯峨天皇の中宮となり久仁親王(後深草天皇)を出生、朝の重鎮としていよいよ権勢を誇った。世に'当世の重臣、比肩すべき人無し、諸事思うが如きの人(「故一品記」)'、'大相一人の意に任せ、福原平禪門に超過す(「明月記」)'と怖畏されたゆえんである。

鎌倉大仏完成1243=72歳：

九条頼嗣將軍1244=73歳：痼病のため北山第で没した。